

私たちの生活は海につながっている

記入日：2010 年 11 月 14 日
横浜市立神奈川中学校 島田 龍志

1. はじめに

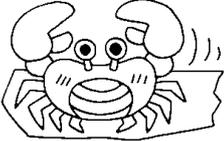
横浜市立神奈川区中学校個別支援学級は 11 月 7・8 日に、県立三浦ふれあいの村で合同宿泊学習を行いました。本行事のテーマを“自然や人とのふれあいで「生きる力を」！”とし、海とのふれあいを通して、私達は何かができるのかを考えました。

2. 当日の実践内容

どのようにして海と人間がふれあうことができるのかを考え、4つの活動を企画しました。海岸のゴミ拾い、貝殻を使った写真立て作り、塩作り、そして磯の生き物観察です。生き物観察の方法として、ネイチャーゲームを使い、フィールドビンゴを道具としました。フィールドビンゴの「本日のスペシャル」は「面白い生き物」を課題として写真に撮り、夜の集いで紹介しました。また、夜の集いでは活動全体を振り返ってみました。

フィールドビンゴ			
() 班 名前 () A			
本日の スペシャル	はさみを もつもの	はなびら のような もの	かおに みえる もの
たべられ そうな もの	ちくちく するもの	ほし のような もの	ゆらゆら ゆれて いるもの
たくさん あしが あるもの	いそ の におい	いきもの の こえ	にまいが い
まきがい	ムニュウ とする もの	ミニ ふじさん	さかな

* 班のみんなで確かめてから○をつけよう。
* 自然をきずつけないでね。
* 本日のスペシャルは写真に撮ってね。



本日のスペシャル



3. 成果と課題

海岸で拾ったゴミの中に、ハブラシがありました。「このハブラシはどこから来たんだろう？」という疑問に発し、「私達の生活は海につながっている。」という結論に結び付きました。

海岸には海で捨てられたゴミは少ないのです。ほとんどが、家庭で使われていたものです。神奈川県
の地形から考えると川や下水道によって運ばれます。

見えるゴミは拾うことができますが、水に溶けて見えないゴミは海をよごし、10年後、20年後に海の生き物たちに大きな影響を与えるでしょう。

フィールドビンゴは、磯の生き物たちへの興味や関心を生徒たちにもたせ、さらにこの環境問題を解決するために「私達にできること」を考えるきっかけになりました。

日常生活の中で私達の行動が課題です。学校に戻ってから「私達にできること」を話し合い、お互いの考えをわかちあい、行動しようと確認しました。



わたしたちにできること

(ゴミを出さないためには・・・)

- 街にごみを捨てない。ごみを拾う
- 買い物をするときには、家から袋を持って行く。
- 無駄な買い物をしない。本当に必要か考える。

(家庭からよごれた水を出さないためには・・・)

- 食べ残しは流しから流さないようにする。食べ残しが無いように、残さないで食べる。ごはんが多かったら、最初に減らして皿に盛る。
- 洗剤の量をおさえる。

4. 本報告を参考にされる方へ

学校の行事には、それぞれ達成したいねらいやテーマがあります。それが自然や環境であるならば、知ったり、感じたり、考えたり、行動するための道具として、ネイチャーゲームを活用することができます。言い換えれば、ネイチャーゲームを教えるのではなく、ネイチャーゲームで教えるのです。

中学生の頃には、自分はどんな人間なのか、他人の目で自分を見つめようとしています。よって、同世代の仲間と価値観を共有できる場面を提供したいのです。ネイチャーゲームを通して、自然への知識や体験をわかちあうことができます。そして、人間が社会で生活するための価値観を友達とわかちあうことによって、共有できたらどんなに素晴らしいことでしょう。

海のビンゴカードを作りました。フィールドによって内容が変わりますが、参考にしてください。

5. 活動を取りまく主な関係団体とその役割

主な関係団体	主な役割
県立三浦ふれあいの村	施設の提供
かながわ海岸美化財団	ビーチ・クリーンの企画、ゴミ袋の配布とごみの回収

6. プログラムのテーマやねらい

ねらい:①友達や先生と仲良く楽しく過ごそう。 ②マナーを守り、よりよい行動を心がけよう。
③元気に活動しよう。 ④豊かな自然の恵みを感じ取ろう。

テーマ:自然や人とのふれあいで「生きる力を」!

7. プログラム

対象・人数	横浜市立神奈川区中学校個別支援学級生徒 60名			
教科等名	合同宿泊学習			
单元名				
单元の目標				
活動(アクティビティ)名	フィールドビンゴ			
活動(アクティビティ)のねらい	磯の生き物を観察する。			
実践日時(季節)	11月7日(日)	時間数	全2時間 30分	
実践場所	三浦市和田長浜海岸			
時間	生徒の活動	教師の支援	備品・その他	評価の観点と方法
1か月前 (30分)	・事前学習(交流会)	・活動の見通し	パソコン プロジェクター	・見通しを立てることができる。
当日 (30分)	・濡れてもよい服に着替えたり、靴に履き替える。 ・ビーチ クリーン活動 人工ごみと自然ごみを見分け、収集する。	・活動の指示 ・かながわ海岸美化財団の職員がごみの分別の仕方を説明し、ごみ袋を配布する。後にごみの回収。	ごみ袋	・拾ったゴミはどこから運ばれたかを想像することができる。
(30分)	・磯の生き物観察(班活動) フィールドビンゴ 「面白い生き物」を写真に撮る。	・生徒の安全に注意する。海で溺れないように指導する。 ・フィールドビンゴの説明とカードを配る。班に1台Dカメラを配る。	ビンゴカード デジカメ	・ビンゴカードを使って、班で協力して対象物を探すことができる。特に、面白い生き物を見つけ、それを写真に撮ることによって、磯の生き物について関心をもつ。
夜の集い (10分)	・活動の振り返り	・写真を編集する。 ・海の環境について興味をもてるように話をする。	パソコン プロジェクター	・写真の鑑賞を通して、自分たちの活動を評価する。
学校で (50分)	・環境について話し合う ・自分ができることを文章にまとめ発表する。後に、友達の意見をわかちあう。	・私達の生活が海につながっていることを話す。 ・意見をグループ化する。問題解決の道筋を明らかにし、行動を促す。(KJ法)	カード	・私達の生活の中で、何ができるかを考えることができる。 ・生活の中で、行動をチェックし、できたことをほめる。